

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～30℃台を示し、かなり高め～著しく高めました。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。五島奈留地区では、マイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の27%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり24トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり12kgの水揚げで、前週の40%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり47kgの水揚げで、前週の52%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり605kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、トビウオなどが1日1統当たり569kgの水揚げ。対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり29kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり141kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが1日当たり6kgの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/10～9/16の7日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸沖で操業。アカイカ漁は北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、5日延13隻、総計930箱、1航海最高180箱、平均71.5箱。スルメイカ（20～30入、バラ）282箱、ケンサキイカ（2～4立）648箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-18号 6県ケンサキイカ情報（令和7年度 第4号）」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>